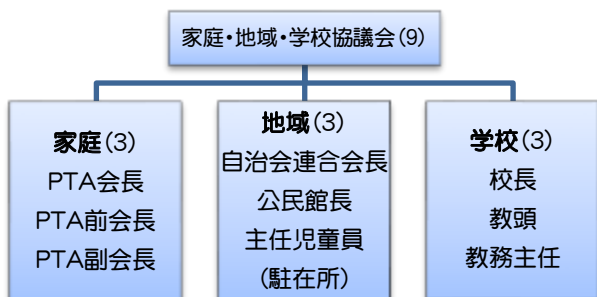


## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



※地域コーディネーター（3名）

清水東公民館主事、清水東自治会連合会長  
菅笠保存会代表

### (2) 協議会の内容

#### ①開催回数

年間3回

#### ②開催日程

第1回（6月）第2回（11月）第3回（2月）

#### ③協議内容

- ・地域学習・体験学習の進め方について
- ・家庭、地域、学校の連携強化について
- ・学校評価を生かした教育活動の推進に向けて
- ・通学路の安全について

### (3) 協議会における成果と課題

P T Aによる安全点検を踏まえて通学路の安全対策について話し合った。歩道にある側溝の蓋の穴につまづいて怪我をする児童があり、そのことについて、自治会連合会としても道路課へ改善の要望をしていただけるようになるなど、成果が見られた。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

身近な地域の伝統産業や歴史・文化を学び体験すること、地域の人たちとの交流を深めることを通して、清水地区さらにはふるさと福井に誇りと愛着をもつ。

### (2) 活動の実際

#### ①「地域の特産物について、体験を通して学んだことを伝えよう」

3年生が、地域の特産物である「新ちゃん味噌」を、実際の作業場で、味噌作り体験した。働いている人たちの「感染症対策を取りながら生産を続け、地域の特産物を広め活性化したい」という想いを感じ取ることができた。そして、学習でまとめた内容を下学年に伝えた。



#### ②「地域の伝統と自然環境を守る地域の人々の想いを伝えよう」



5年生が地元農家の協力を得て稲作体験を行った。臨時休業のため、除草、稲刈りからの体験となったが、福井県の特産米である「いちほまれ」の収穫を体験することができた。また、菅笠保存会の協力を得て菅笠づくりを体験した。公民館の方たちと、ゲストティチャーを招いてのビオトープ見学や、菅を刈る作業も体験した。地域の様々な方との交流を通して、地域の田園と伝統を守ろうと

(様式3)

する地域の方々の想いを感じ取ることができた。

### ③「清水東の歴史パンフレットを作ろう」

6年生が各自で地域の歴史や施設について調べた。地域の昔話をまとめた本や、公民館が作成した地域の動画を参考に学習を進めた。また、地域コーディネーターの方をお願いして、6人の地域の方々からお話を聞くことができ、自分たちが調べたことをさらに深めることができた。そして、調べたことをパンフレットにまとめ、公民館に置くなどした。



### (3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・ 体験活動に伴うゲストティチャーの依頼と連絡調整
- ・ 地域学習における企画・立案・運営における助言

### (4) 特に工夫した事項

- ・ 学校再開後、コロナウィルス感染症の状況を見ながら体験活動や校外学習を設定したため、一時期に多くの活動が集中することとなった。しかし、オンラインによる交流、インターネットの活用・動画の視聴、3密にならない体験活動など、今までにない工夫が見られた。
- ・ 体験活動が制限され学習の見通しもなかなか持てない中、より効果的になるよう、目標設定や振り返りを充実させた。

### (5) 成果と課題

- ・ 地域の感染状況を見て、対策を取りながら、全ての学年で地域学習を進めることができた。また、自分たちが住むふるさと「清水東地区」の歴史・伝統や文化、特色に関するのことを、直接見聞したり体験したりして豊かな心とふるさとへの誇りを培うことができた。
- ・ 各学年の体験活動や目標を再吟味し、無理なく学習が進められるようカリキュラム編成を工夫する必要がある。
- ・ 地域の高齢化や高齢者の就職の増加に伴い、無償で地域学習に協力してくれる人材確保が難しくなった。